

第 2 回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日時	平成 30 年 5 月 16 日（水）午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
場所	市役所 5 階 507 会議室
出席者	彦谷委員長、吉澤副委員長、高橋委員、坪島委員
議題	1. 評価 (1)日野市市民の森ふれあいホール 日野市市民の森ふれあいホール共同事業体の報告、質疑、採点 2. 評価 (2) 日野市立地区センター 株式会社 日野市企業公社の報告、質疑、採点
	●評価の内容 ・指定管理者による報告 10 分 ・市民委員からの質疑（回答：指定管理者） 20 分 ・市民委員からの質疑（回答：主管課） 10 分 ・まとめ（採点） 10 分
議題 1	●評価 (1)日野市市民の森ふれあいホール ：指定管理者（日野市市民の森ふれあいホール共同事業体）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ （質問） 資料にある年間利用者数について、自主事業を含めた全体の利用者数という理解でよろしいか。 （回答） 評価資料 16 ページの年間利用者数については、自主事業も含めた人数を掲載している。自主事業の教室数・参加人数については、平成 26 年度は 289 教室・2490 名、平成 27 年度は 260 教室・2860 名、平成 28 年度は約 270 教室・3014 名、平成 29 年度は 270 教室・3178 名となる。教室の増減については、市民にニーズ、市民への一般開放枠なども考慮し、開催教室を決定している。 4 年間で延べ 11,542 名の方にご参加いただいている状況となっている。 （質問） 5 年前の選定委員会では、充足率が 60～70%ないと、自主事業収益が厳しいと発言している。平成 29 年度に充足率が 30%で収益がプラスになっているが、何が要因か。 （回答）

	充足率については、(自主事業の) 教室の定員に対し、何名の参加者がいるかで充足率を算出している。定員の算出方法としては、自社としては、各部屋の坪数又は平米 (㎡) 数で定員を決める方法と、教室に妥当である講師が見られる人数で算出する方法がある。 市民の森ふれあいホールの自主事業については、なるべく多くの参加者に参加していただきたいという考えから、各部屋の坪数又は平米 (㎡) 数で定員数を決め、運営をしている。 料金設定については、調査し高すぎず、安すぎずの料金で運営している。本料金については、教室参加者へのアンケート回答から 80%の方に適正であるという結果があり、適正な価格であると判断し、運営に努めている。 (質問) 充足率と稼働率の違いについては教えてほしい。 (回答) 充足率は教室の定員に対して参加者が何名いたかで算出され、稼働率については、各部屋の稼働数を示しており、弊社としても、充足率が上がり、稼働率も上がるように努めている。 (質問) 評価資料 17 ページ記載のオリンピック・パラリンピック関連イベントに関しては、指定管理者で企画運営をしているのか。また、その収支状況については、どうなっているのか。 (回答) オリンピックイベントについては、指定管理者とマネジメント会社で交渉を行い、ニーズのある選手を招待し、オリンピックイベントとして企画運営を実施している。また、収支について、オリンピック招聘については、多額の料金がかかるため、採算はとれませんが、スポーツ振興及びオリンピックとの触れ合いを大切にしていきたいという想いがあり、開催している。 (質問) B リーグ (プロバスケットボールトップリーグ) の興行についても、指定管理者が企画運営をしているのか。 (回答) 指定管理者は施設管理の範囲で、B リーグの運営会社と会場設営、当日の運営が円滑に滞りなく進むよう、打ち合わせ等を実施している。 本件のような興行については、企画運営は、興行の実施者が行っている。 (意見) 集会室 2・3 (調理室) の活用方法については、今後も引き続き様々な検討を重ね、稼働率の向上に努めてほしい。 (意見) 事業報告書内の修繕実施項目と収支計画書の修繕項目の整合性が取れていない。また、
--	---

利益還元金支払い内容を見ると、自主事業にかかる本社経費が指定管理事業全体にかかる本社経費で計上されている。自主事業にかかる本社経費を按分計上すべきではないか。上記二つを意見として述べさせてもらう。

～指定管理者退出後～

＝主な質疑（主管課）＝

（質問）

年間の利用者数が増加していると指定管理者から報告を受けたが、実際の内訳は市イベントや祭りに起因しているところが多いのではないかと。利用者数の内訳がわかるよう、イベント・祭り利用と施設利用（スポーツ利用・自主事業）を分けて人数を記載したほうが良いのではないかと。

（回答）

指定管理者の方で、施設の総利用者数として、人数はカウントしている。

イベント・祭り利用と施設利用（スポーツ利用・自主事業）は分けて、算出することについては、ご意見として参考にさせていただく。毎年利用者人数が増加していることについては、指定管理者が様々な取り組みを展開している結果である。

その点については、評価してほしい。

（質問）

自主事業の料金体系については安すぎるのではないかと。自主事業の利益の一部を還元金として市へ納付することについては、当初の提案からあったことなのか。

（回答）

先程の指定管理者からの説明のとおり、料金については、調査等を行い、安すぎず、高すぎずの料金設定で教室を展開している。

市としても引き続き注視はしていくが、適正な価格であると判断している。

また、自主事業の利益の一部を還元金として市へ納付することについては、当初の提案からいただいている内容である。平成 27 年度から利益を出し、その一部を還元金として市へ納付していることについては、評価している。

（質問）

自主事業の教室の定員数については、妥当な人数なのか。その点については、妥当な定員数については市として考えはあるのか。

（回答）

先程、指定管理者からの報告の中で、教室の定員数の算出については、教室面積（平米数）からの算出と、講師一人あたりの見られる人数からの算出とあり、指定管理者として、少しでも多くの方に参加してほしいという意図から教室面積（平米数）から算出して定員数を設けている。

議題 2	市としても、多くの人に利用して頂き、市民の健康・スポーツの機会の創出に貢献して いてほしいという考えがある。 その点について、市の方向性をくみ、自主事業を展開している。 また、民間のノウハウを活用した中で、市の方向性を取り入れつつ、定員数を算出して いるので、妥当であると判断している。 (意見) 指定管理者の自主事業について、メニューを見ると様々な教室を展開している。 その点について、非常に良い取り組みを実施している。 ＝まとめ(採点)＝ ●評価 (2)日野市立地区センター ：指定管理者(株式会社 日野市企業公社)による報告 ＝主な質疑(指定管理者)＝ (質問) 修繕の件数が年々増加している。順位付けはどうしているのか。 (回答) 現場で確認し、至急やるべきものから実施している。 (質問) 修繕の順位付けは、関係自治会の声の大きさが影響していないか。 (回答) そういうことはない。単に、その建物が古いからである。 (質問) 年度報告書を見ると、給料・修繕が予算を超過している。前年度決算を参考にすべきすべ きではないか。 (回答) 当初は予算内でやるつもりで作っている。最初はうまくいくが、年度後半に費用がかさん でしまう。 他の経費や自販機収入も修繕に回している状態である。 公共施設なので、修繕をしない、というのは難しい。 (質問) 計画的に修繕を実施する予定はあるのか。
-------------	---

	(回答) 長期的な計画は立てている。 インスペクション（調査・検査）資格を社内基準で設定し、建物管理に活かしている。 (質問) 一部事業の委託先はどこか。 (回答) 地区センターの管理を地元自治会に委託しているのが大部分である。 他は、浄化槽清掃等である。 (質問) 地区センターに AED（自動体外式除細動器）はあるのか。 ないのであれば、報告書にある AED 研修の意味はあるのか。 (回答) 市や指定管理者で設置していない。 自治会独自での設置はある。 地区センター以外の業務もあるので、研修は必要である。 (質問) 市民が地区センターに関する要望を出す際は、指定管理者を必ず通すのか。市でも良いのか。 (回答) どちらでもよい。 指定管理者にきたものは市に伝える。 (質問) バリアフリー化の要望はあるのか。 (回答) いくつかの地区センターである。 (質問) 稼働率と地区センターの規模に相関関係はあるのか。 (回答) 稼働率は地元自治会の活発さの影響が大きい。 (質問) 利用者の集計はどこまでしているのか。 (回答) 半年に 1 回、自治会から報告を受ける。件数・人数は集計して、公表もしている。 利用者の傾向等は集計しないわけではない。 (意見)
--	---

	自主事業の開催場所の選定に活用すべきだ。 (質問) 利用者の減少は高齢化によるものか。 (回答) それだけでなく、子育て世代も減っていることがあげられる。 (意見) いつも閉まっている地区センターもある。もっと現場で利用者の声を聞いて欲しい。 (質問) 自主事業とは何か。 (回答) 市との契約とは別に、指定管理者が独自の判断で実施するものである。 例えば、男性がもっと地域コミュニティに出てきてもらうための男性中心の健康体操を実施している。 (意見) 講師の関係で展開が難しいのであれば、DVD にして配るなどの工夫をして欲しい。 ～指定管理者退出後～ ＝主な質疑（主管課）＝ (質問) 程久保地区センターは投票所にできないのか。第二武蔵野台に登るのがつらい人がたくさんいる。 (回答) 投票所にするかは選挙管理委員会の判断になる。バリアフリー化の問題もある。 (質問) 地区センターの机・椅子等の備品は外に持ち出し禁止か。 (回答) もとに戻していただければ問題ない。地元の判断に任せる。 市として一律な判断は難しい。 (質問) 吹上地区センターを廃止した際の地元の反対はあったのか。 (回答) 代替として環境情報センターと統合したカワセミハウスを建設したので、ご理解いただいている。 (質問) 市として、利用者数の集計等はしているのか。
--	---

	(回答) 「とうけい日野」や「事務報告書」に掲載している。 (質問) 今回の報告書の中に、各地区センターの部屋数がなかった。情報が少ないと判断できない。情報をもっと載せてほしい。 (回答) ホームページや暮らしの便利帳には載せているが、今後はこのような資料に載せることも検討する。 ＝まとめ（採点）＝ ～第2回日野市指定管理者市民評価委員会終了～
--	---